

2023年2月
No.23-033a(全)

検体検査実施料に係るお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年1月31日付け厚生労働省保険局医療課長通知「保医発0131第4号」にて、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(令和4年3月4日付け保医発0304第1号)が改正され、令和5年2月1日より適用されることになりましたのでご案内いたします。

敬具

記

■新規収載項目および算定方法の一部改正項目

- 裏面をご確認ください。

■新規収載項目

点数区分	検査項目名	実施料	判断料	注
D012 感染症免疫学的検査				
37	単純ヘルペスウイルス抗原定性(皮膚)	180	免疫 (144)	*1

[注]

*1: 単純ヘルペスウイルス抗原定性(皮膚)は、単純ヘルペスウイルス感染症が疑われる皮膚病変を認めた初発の患者に対し、イムノクロマト法により実施した場合に本区分「37」単純ヘルペスウイルス抗原定性を準用して算定できる。なお、当該検査を2回目以降行う場合においては、本検査を実施した医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。ただし、本区分「37」単純ヘルペスウイルス抗原定性及び「44」単純ヘルペスウイルス抗原定性(角膜)、単純ヘルペスウイルス抗原定性(性器)は併せて算定できない。

点数区分	検査項目名	実施料	判断料	注
D023 微生物核酸同定・定量検査				
20	結核菌群リファンピシン耐性遺伝子及びイソニアジド耐性遺伝子同時検出	963	微生物 (150)	*2

[注]

*2: ア 結核菌群リファンピシン耐性遺伝子及びイソニアジド耐性遺伝子同時検出は、塗抹検査又はその他の検査所見で結核菌感染の診断が確定した患者を対象として、薬剤耐性結核菌感染を疑う場合に、本区分「20」ウイルス・細菌核酸多項目同時検出の所定点数を準用して算定する。

イ 結核菌群リファンピシン耐性遺伝子及びイソニアジド耐性遺伝子同時検出と本区分「19」の結核菌群リファンピシン耐性遺伝子検出及び結核菌群イソニアジド耐性遺伝子検出を併用した場合は、主たるもののみ算定する。

■算定方法の一部改正項目

点数区分	検査項目名	実施料	判断料	注
D007 血液化学検査				
48	オートタキシン	194	生化学(I) (144)	*3

[注] 下線部が追加されました。

*3: ア 「48」のオートタキシンは、サンドイッチ法を用いた蛍光酵素免疫測定法、化学発光酵素免疫測定法又は酵素法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む。)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。

イ (略)